

■ やってみよう！2025～地域とともに協同（協働）する学校～ （老上西小学校）

1 【活動の趣旨】

「やってみよう！2025」を合言葉に、目指す学校像の一つとして『地域とともに協同（協働）する学校』を掲げ、「家庭や地域等のさまざまな力や資源が活かされる学校」「教育や子育てにかかわる課題にとともに取り組む学校・家庭・地域」づくりを進めている。

2 【特徴的な活動内容】

○栽培体験活動

1年生のさつまいも、2年生の大根、5年生の米等の作物を、農業学校やサポーターの方の協力を得ながら栽培した。栽培中は、適宜様子を観察し、成長を見守った。収穫した作物は、家に持ち帰ったり、調理して食し、収穫の喜びを感じたりすることができた。



【5年生 稲刈り】

○学習支援

5年生の総合的な学習の時間で、ボランティアの方に田植えの体験学習支援をしていただいた。担任の注意が行き届きにくいところの支援をしていただいたおかげで、安全に配慮しながら、きめ細かい支援を行うことができ、こどもたちは充実感を得ることができた。



【3年生

ユニバーサルデザイン学習】

○読書活動の推進

図書ボランティアの方には、本の貸し出しや整理、掲示物の作成など、こどもたちが本に親しめる環境づくりに貢献していただいている。毎週火曜日には、低学年を中心に、朝の学習の時間を活用して読み聞かせをしていただいた。こどもたちは、読み聞かせを大変楽しみにしていて、読み聞かせをきっかけとして読書の幅を広げることができた。

○郷土学習

盲導犬ユーザーの方からユニバーサルデザインやバリアフリーについてお話しいただいた。このことをきっかけとして課題意識を持ち、私たちの生活する草津には、年齢・性別・文化・障害・国籍など、さまざまな人が生活していることを学んだ。そのような社会の中で、自分はどのように生きていきたいかについて考えた。

3 【実施に当たっての工夫】

- ・年度当初に「サポーター活動年間計画」を作成・配布し、保護者や地域の方に一年間の見通しを持ってもらえるようにしている。
- ・担当者とのこまめな打ち合わせを行い、些細なことでも共有するよう努めている。

4 【事業の成果】

- ・地域コーディネーターを中心として、地域や保護者との連携を密にすることで、こどもたちの体験的で主体的な学習を安全に実施することができた。

5 【事業の今後の展望】

- ・郷土について学ぶ活動を、充実、発展させていきたい。